



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 井 上 裕 貴
幹 事 中 谷 徹 雄 会 報 委 員 長 大 原 文

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2206

2014-11-14

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

LIGHT UP ROTARY ロータリーに輝きを

2014-2015年度国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン

本 日 の 例 会 11月14日(第2例会)

- 卓話 「裁判員裁判の現状と課題」
裁判員裁判制度が始まって5年が経ちました。その現状と課題についてお話しします。
大阪地方検察庁公判部副部長 横山和可子様
(プログラム委員会担当)
- 情報集会(親睦・出席委員会担当)
18:00 ~ 20:30
シェラトン都ホテル大阪 3階 「四川」

次 週 の お 知 ら せ 11月21日(第3例会)

- 卓話 「医療雑感」
世界のトップクラスの長寿国・日本、その実現に大きな役割を果たした医療が、今揺らいでいるその現況を述べる。
光信昌明会員
- 食膳 〈日本料理 和定食〉

次々週のお知らせ 11月28日(第4例会)

- 卓話 「トルコ探訪と私の大学での専攻について」
米山奨学生 オズカン・ミュゲ
(西谷雅之会員担当)

先 週 の 記 録 11月7日(第1例会)

- 出席報告
出席会員 42名 (内免除会員 10名)
会員総数 51名 (同上 16名)
ゲスト 0名
ビジター 1名
計 43名
ホームクラブ出席率 93.33%

10月17日(第3例会)補正出席率 100%(MU2名)

- ゲスト&ビジター (敬称略)
北橋茂登志 (大阪難波)

◆ 会 長 挨拶 ◆

先月10月24日は「世界ポリオデー」でした。1985年ロータリーで始まったプログラムで世界125カ国35万人が発症していたポリオウイルスから子供たちを守るために、ワクチンを提供することでした。現在パ

キスタン、アフガニスタン、ナイジェリアなど数カ国を残すのみとなりました。2018年にはポリオをなくすための努力をしているところです。

11月18日(火)第2回若手ロータリアン研修セミナー・懇親会開催のお知らせが来ています。入会の浅いロータリアン同士の懇親の場として参加よろしくお祈いします。

2014 ~ 2015年大阪城南ロータリークラブ指名委員会において、クラブ細則1条1節3項の候補者の選考が行われました。その結果、次年度会長に尾崎敬則会員、次年度理事に(次年度会長・南賀勝之会員を除く)今井賢二郎会員、井上裕貴会員、濱田由弘会員、西谷雅之会員、岡部泰鑑会員、岡部倫正会員、西澤吉樹会員の7名が推薦されました。なお、クラブ細則1条1節4項に基づき他にご推薦のある方は、7名以上の会員推薦を得て、会長に11月21日(金)までにご連絡ください。

◆ 幹 事 報 告 ◆

- プログラム変更の件。年次総会及び12月度定例理事会を12月12日になっていりましたが、12月5日に変更いたします。細則第4条第1節1項により問題ありません。
 - 地区よりロータリーフェスティバル(RF)開催に向けて各クラブへのお願事項の案内が来ています。
 - ・ RF担当窓口の選任→クラブ奉仕委員会に担当して頂きます。
 - ・ 1人当たり2,000円の協力金の拠出。
 - ・ RI公式行事であるので全員参加でお願いします。
- 概要
開催日:2015年5月5日(祝)
10:00 ~ 20:00
開催場所:中之島公会堂及びその周辺
(中之島まつりと連携して開催)
RFのテーマ「Light up Rotary Light up Osaka 考えよう子供達の未来を!」



◀ 山下会員、古希のお祝い。

11月はロータリー財団月間です!!

◆ 委員会報告 ◆

①「親睦・出席委員会報告」

委員長 中谷佳正

恒例の年末家族懇親会を12月12日(金)帝国ホテル大阪で開催いたします。

今年度は懐かしいオールディーズバンドの音楽とビンゴゲームで楽しんで頂きたいと思ひます。つきましては、会員は勿論ご家族の皆様にも是非ご出席いただき、親睦の輪を広げ、楽しいひとときを過ごしていただきますようご案内申し上げます。

②「社会奉仕委員会報告」

委員長 中尾吉計

・「吉野 青根ヶ峰植樹地視察」を11月22日(土)に行う案内は10月10日にさせていただきましたが本日が締切です。尚、参加者には後日詳細を送らせていただきます。尚、昨年締結しました下刈・苗木管理事業につきましては先月に完了しております。

・東北震災復興支援の一環として、前年に続き「大熊町立大熊幼稚園の母と子のクリスマス会」にお菓子を届けたく思ひます。計64名分38,400円です。配布につきましては、会津若松城南RC様がお手伝いされます。12月11日実施予定です。

●ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの資金提供

2007年11月26日、国際ロータリーはビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団と協同して、世界ポリオ撲滅に必要とされる2億米ドルを投入することを発表しました。ゲイツ財団から1億ドルの補助金を受領したロータリー財団は、この時点から3年間にこれと同額の資金を調達するための募金活動を行っていくことになりました。

●最終段階に向けて

2013年6月、国際ロータリーとビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、ポリオの撲滅活動を支援するパートナーシップの拡大を発表しました。今後5年間、ロータリーがポリオ撲滅に寄せる寄付に対して、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せするというものです(対象となる寄付額は各年3,500万ドルまで)。このパートナーシップを通じて、最高総額5億2,500万ドルの資金を確保できることとなります。

ロータリーがこれまでにポリオ撲滅活動で寄付した総額は、12億ドルに上ります。寄付金は、すべてポリオ感染国での予防接種活動に充てられます。

ロータリアンたちは、もちろんお金を集めていただけではありません。多くのロータリアンが道路もないようなへき地に分け入り、紛争地帯に赴き、実際にポリオワクチンを子どもたちに届けるための活動もしています。紛争地帯では、双方の代表者を説得してポリオワクチン投与のために一時休戦にしたり、宗教上などの理由からポリオワクチンの投与を拒む人々を説得したり、さまざまな活動をしてきました。

ポリオ撲滅まで「あと少し」ですが、そのための資金不足は深刻な問題です。街で募金活動をしているロータリークラブの会員を見つけたら、ぜひ、ご協力ください。また、ロータリークラブの会員でなくても、公益法人ロータリー日本財団を通してポリオ撲滅のための寄付をすることができます。皆さまのご協力をお待ちしています。

*ロータリージャパンHPより転載

卓話

11月7日 <第1例会>

「ロータリー財団月間に因んで」

ポリオ(小児まひ)は、体がまひしたり命を落とすことさえある病気です。国際ロータリーでは、資金集めをしたり、ワクチン投与をしたり、長年にわたってポリオの撲滅に取り組んできました。

●ポリオ撲滅に向けて始動

1979年9月、国際ロータリーはフィリピンで、生後3か月から36か月の子ども約600万人に対して、5か年計画のポリオ免疫活動を始めました。これが、ロータリーがポリオ撲滅に取り組んだ第一歩です。

1985年、国際ロータリーではロータリー創始80周年に当たって、「ポリオ・プラス計画」を発表。日本国内では募金総額40億円を最終目標として、1986年7月から5年計画のポリオ・プラスの募金キャンペーンが始まりました。日本中のロータリアンが積極的に取り組み、このキャンペーンが展開されていた1986年7月から1991年6月までの5年間で、目標額をはるかに超える約49億円の寄付金を集めることができました。

●世界ポリオ撲滅推進計画が発足

1988年、国際ロータリーは世界保健機関(WHO)、ユニセフ、アメリカ疾病対策センター(CDC)とともに、世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)の発足に携わりました。

以来、世界でポリオ感染数は99%減少し、毎年35万件あった感染は、2012年にわずか223件にまで減少しました。2013年は、さらにこの数が減少するだろうと期待されています。

にこにこ箱

11月7日(第1例会)

- ・本日お蔭で東成区内で建設予定の特養入札が無事成立しました。 永井会員
- ・拙い趣味を披露させていただきました。初めての卓話を経験して。 浅井会員
- ・昨日の朝日新聞夕刊で、くにじまのパデルを取り上げて頂きました。パデルの人気徐々にながってありますが、「亀の歩み」です。 村上(泰)会員
- ・先日家内に頼まれて庭木の枝を落とすつもりが、私がハシゴから落ちました。 梅崎会員
- ・欠席おわび 中尾会員
- ・他 お祝い23件

(編集担当 武田・大原)